

事業承継相談窓口の設置

戦略 1	経営改革と経営基盤の強化
取組方針①	小牧を支える中小企業の持続的な発展を促す基盤整備
概要	毎月第3金曜日に小牧市役所内で愛知県事業承継・引継ぎ支援センターによる出張相談を実施(1日2組まで)。

●相談実績

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	◆利用者の業種 上位3業種 (令和5～9年度実績)
相談件数	5	12	2				1位 製造業 7件 2位 建設業 各1件 卸売業・小売業 情報通信業 学術研究, 専門・技術サービス業 宿泊業・飲食サービス業等

●担当部署コメント

令和5年1月から同相談会を実施し、令和5年度からの累計で14件/30件、約46%と一定の事業者ニーズを確認している。
また、相談後のアンケートでは、事業承継を検討するうえで役立つ・ある程度役立つが 100%、満足・やや満足が約90%、自由意見としては、「周りに相談できる人がおらず、今考えている事業承継の計画が正しいのかどうか不安に感じていたので、安心できた」や「まだ先の事だと思っていましたが、今から先行して解決していかないといけないことが良く分かった」との意見があった。
今後も引き続き事業者への周知を図りながら実施していく。

【委員用 備考欄】

事業継続計画（BCP）策定の普及支援

戦略 1	経営改革と経営基盤の強化
取組方針①	小牧を支える中小企業の持続的な発展を促す基盤整備
概要	2019年7年、小規模事業者支援法の改正に伴い、小規模事業者の事業継続力強化の取組を商工会議所が市町村と共同で支援することが規定された。小牧商工会議所では、2021年に調査、計画策定、2022年に愛知県から支援計画（2022年4月1日～2027年3月31日）の認定を受け、事業継続計画（BCP）策定の啓蒙普及、計画策定支援に取り組んでいる。

●取組実績

R5	<ul style="list-style-type: none"> ・啓蒙普及用リーフレットの発行、メール・DMによるハザードマップ情報の提供 ・事業継続計画セミナーの開催 <p>支援機関向け小牧市の企業支援メニューに関する説明会 開催日 9月25日 参加者 25社 58名</p> <p>事業継続力強化計画策定セミナー 開催日 9月12日 参加者 23社 26名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家派遣 4社 10回 <p>BCPスタートブック作成 134社（スタートブックは小規模事業者向けのひな型）</p> <p>事業継続力強化計画作成 5社</p>
----	--

●担当部署コメント

小規模事業者においては、災害による経営リスクは意識しつつも、BCP(事業継続計画)への取組み優先順位の低さや、作成ハードルの高さが策定を阻害している。そのため、先ず小規模企業者等へハザードマップにおける自社の現況を通知するほか安否確認用の連絡ルールブックを提供してBCPの必要性を伝えた。また、小規模事業者が容易に取り組むことのできる『BCPスタートブック』による取組み支援や事業継続力強化計画の策定支援を小牧市はじめ支援機関と連携して地道に続ける。更に、発災時における市内企業の現状把握について、愛知県を通じて国へ迅速に報告することの依頼を受けている。このため、市内企業に対して小牧市や当所へ現況連絡する旨をBCPに記載することも推進している。

本年度は、小牧市のハザードマップを活用して市内地域ごとの危険度を案内するとともに、BCPの必要性と策定に向けた「気づき」を高めることに傾注した。次年度からは中部地方整備局が策定した「中部版くしの歯作戦」に基づき市内建設業者はじめ小牧市と災害時における協定を締結している事業者に対して各支援機関等と連携し、BCPの推進に取り組む。

【委員用 備考欄】

リノベーションまちづくり

戦略3	企業チャレンジ支援
取組方針②	チャレンジしやすい小牧での起業・創業支援
概要	小牧市中心市街地ランドデザインにおいて取組が位置付けられており、商業振興の面から空き店舗活性化支援補助金の運用状況もふまえながら、対象エリアやデータベース整理を行いより効果的な空き店舗活用を図る。

●取組実績

R5	<p>空き店舗活性化支援補助金を実施しながら、地元事業者である審査委員会の委員や補助金申請者、地元不動産会社に中心市街地周辺の現況に関するヒアリングを行った。</p> <p>【審査委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賑わいの為にはやはり飲食店が必要・住まいと店舗が同一になっている建物が多く、事業をやっていないでも住宅として使っていたり飲食店として貸し出すと火災のリスクや油汚れがあることから貸す人が少ない・家賃も駐車場代も高く、駐車場はほとんど空いていないため従業員の駐車場を確保することが難しい <p>【補助金申請者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の家賃は相場と比較して高い・図書館や未来館ができ駅前が賑やかになったが、駅周辺だけで商店街まで波及していない <p>【地元不動産会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実態として、物販・飲食店の継続は難しく、美容業だけ継続している傾向がある・空き店舗の状況としては、市場に出ているもので1、2件程度
----	--

●担当部署コメント

空き店舗活性化補助金の利用者の中には補助金終了後の事業の継続が困難になる事業者もおり、事業開始当初となる補助金申請時に事業者へ有益な情報を提供し、より効果的な空き店舗活用や商業振興となるよう取組を継続する。

【委員用 備考欄】